

## 契約の石板



出エジプト記 34 : 27~28 → 「戒めの再授与」の中のみ言葉

主はモーセに言われた。「これらの言葉を書き記しなさい。わたしは、これらの言葉に基づいてあなたと、またイスラエルと契約を結ぶ。」モーセは主と共に四十日四十夜、そこ（→シナイ山）にとどまった。彼はパンも食わず、水も飲まなかった。そして、十の戒めからなる契約の言葉（→十戒、十誡）を板（→石板=ヘブライ人への手紙 9 : 4）に書き記した。

契約の言葉は、契約の条件とも言えます。つまり、契約条件とは、権利・義務関係の発生・変更・消滅に関する当事者間の具体的な契約の詳細内容のことです。

十戒に記されている条件をすべて守らなければ、つまり、10の全条件が満たされなければ、契約は成立しないのです。この条件を満たすことが不可能な私たち（罪人）の代わりに、イエス・キリストがこの地上に人間として来られました。イエス・キリストは、十戒のすべてを守られることによって、契約の言葉を完全に成就されたのでした。

→マタイによる福音書 5 : 17~18

「わたしが来たのは律法や預言者を廃止するためだ、と思っ**て**はならない。廃止するためではなく、完成するためである。はっきり言うておく。すべてのことが実現し、天地が消えうせるまで、律法の文字から一点一画も消え去ることはない。

十戒=愛です。

十戒の第1条から第4条を守ることは、「神への愛」を表し、第6条から第10条を守ることは、「隣り人への愛」を表します。

→マタイによる福音書 22 : 37~40

イエスは言われた。『心を尽くし、精神を尽くし、思いを尽くして、あなたの神である主を愛しなさい。』これが最も重要な第一の掟である。第二も、これと同じように重要である。『隣人を自分のように愛しなさい。』律法全体と預言者は、この二つの掟に基づいている。』

聖書は、神が神の民と「新しい契約を結ぶ」ことを約束しています。その新しい契約とは、「わたしの律法を彼らの思いに置き、／彼らの心にそれを書きつけよう」という約束です。

→エレミヤ書 31 : 31~33

見よ、わたしがイスラエルの家、ユダの家と新しい契約を結ぶ日が来る、と主は言われる。この契約は、かつてわたしが彼らの先祖の手を取ってエジプトの地から導き出したときに結んだものではない。わたしが彼らの主人であったにもかかわらず、彼らはこの契約を破った、と主は言われる。しかし、来るべき日に、わたしがイスラエルの家と結ぶ契約はこれである、と主は言われる。すなわち、わたしの律法を彼らの胸の中に授け、彼らの心にそれを記す。わたしは彼らの神となり、彼らはわたしの民となる。

→ヘブライ人への手紙 8 : 8~10

事実、神はイスラエルの人々を非難して次のように言われています。『見よ、わたしがイスラエルの家、またユダの家と、／新しい契約を結ぶ時が来る』と、／主は言われる。『それは、わたしが彼らの先祖の手を取って、／エジプトの地から導き出した日に、／彼らと結んだ契約のようなものではない。彼らはわたしの契約に忠実でなかったので、／わたしも彼らを顧みなかった』と、／主は言われる。『それらの日の後、わたしが／イスラエルの家と結ぶ契約はこれである』と、／主は言われる。『すなわち、わたしの律法を彼らの思いに置き、／彼らの心にそれを書きつけよう。わたしは彼らの神となり、／彼らはわたしの民となる。

→ヘブライ人への手紙 10 : 15~17

聖霊もまた、わたしたちに次のように証ししておられます。『それらの日の後、わたしが／彼らと結ぶ契約はこれである』と、／主は言われる。『わたしの律法を彼らの心に置き、／彼らの思いにそれを書きつけよう。もはや彼らの罪と不法を思い出しはしない。』

神の愛の力によって、私たちの罪深い思いや心は徐々に変えられていき、十戒のすべてを守ることを可能にくださるのです。これこそが、罪の奴隷である私たちを、罪の支配から救ってくださるという福音であり、その驚くべき神の愛の約束がこの契約の言葉である契約の石板に込められているのです。